



第4図 b 5月21～25日の間に平年より高い日最高気温がでる時の高圧帯と低圧帯の位置（単調な複線：低圧帯，波型の複線：高圧帯）

(3) 平年なみの日は東京の上が高圧帯となることが多いが、日本海や太平洋等を低気圧が東京にわりあい接近して通り、天気は曇りか小雨の時が多い。南よりの風が卓越するが、北よりの風の時も多い。

【付記】

ところで、私たちが五月らしい天気、五月らしい気圧配置と解説し、また世間の人もいかにも五月の季節感を満喫するような日は、(3)項で述べた天気型よりは(2)項でのべた天気型のことが多く、それはその季節にとくに卓越する日というよりは、実はむしろあまりあらわれない日である。教科書などに書かれている季節を代表する天気図型の中には案外そういうのが多いかもしれない。

理事会便り

第23回 常任理事会議事録

日時 昭和37年1月8日(月) 16.30～1800

場所 神田学士会館

出席者 松本、藤田、神山、岸保、正野、吉武、根本、
今井、淵、各理事(順序不同)

決議

1. 春季大会に関し次のようにきめる。
 - イ. 期日 5月9日(水)～11日(金) 3日間
 - ロ. 場所日の出会館(仙台駅前)
 - ハ. 大会委員長 山本義一
 - ニ. 講演申込および総合議題募集の締切は3月15日
 - ホ. シンポジウムは「大気環流と季節予報」
 - ヘ. エクスカーション なし
2. 37年度文部省科学研究費等分科審議会委員には
下記3名を推せんする。
本多弘吉、山本義一、日高孝次。